

## チーム医療の具体的実践事例

提出委員名 近森 正幸 委員

チーム（取組）の名称	栄養サポートチーム
チームを形成（病棟配置）する目的	<p>栄養障害の状態にある患者またはそのハイリスク患者すべてに対して、必要な時に必要な対応を専門職種が行うことができる。これにより、患者の生活の質の向上、原疾患の治癒促進および感染症等の合併症を予防し、早期退院に結びつけることができる。</p>
チームによって得られる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肺炎等の合併症が減少し、在院日数が短縮するなど医療の質の向上</li> <li>・ マンパワーを充実しても労働生産性の向上により、相対的に人的コストが削減</li> <li>・ 輸液、抗生剤等の使用量が減少し、物的コストが削減</li> </ul>
関係する職種とチームにおける役割・仕事内容	<p>医師：担当医は1日30～40人の栄養計画を承認し、栄養サポートを実施。チームリーダーとして週5日、14回のカンファレンス（1回2時間）に参加。</p> <p>看護師：担当看護師が週1回、全入院患者の栄養スクリーニングを実施、栄養看護師はそれらを取りまとめ、リスク患者のリストアップを行う。医師に承認された栄養計画に基づいて、栄養サポートを行う。全カンファレンスに参加。</p> <p>管理栄養士：全病棟に配属され、直接患者から情報を得て、毎日30～40人の患者の栄養評価と栄養計画を作成し、栄養サポートを実施。全カンファレンスに参加。</p> <p>薬剤師：重症病棟を中心に病棟配属され、薬剤から見た栄養サポートを実施。全カンファレンスに参加。</p> <p>リハビリスタッフ：全病棟に配属され、リハビリを行うことにより、廃用を予防し、骨格筋を作ることで栄養状態の改善を図る。その他、摂食嚥下障害などに対するサポートを行う。全カンファレンスに参加。</p> <p>臨床検査技師：検査データから見た病態の把握や助言、全病棟のアルブミンマップの作成などを通じて、栄養サポートを実施。重症病棟のカンファレンスに週2回（1回2時間）参加。</p>
チームの運営に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当看護師が入院時および入院後週1回、全患者のスクリーニングを実施。</li> <li>・ リスク患者に対し、栄養評価と栄養計画は病棟に配属された管理栄養士が毎日実施。</li> <li>・ 栄養サポートは栄養計画に基づいて病棟の担当医師と看護師、管理栄養士などが対応。</li> <li>・ ICU、CCUは週2回、HCUや一般病棟は週1回のカンファレンスや回診を実施。</li> <li>・ 管理栄養士は、24時間（夜間は呼び出し）365日（休・祝日出勤）の栄養サポートに対応している。</li> </ul>
具体的に取り組んでいる医療機関等	近森病院